

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)									
AA43G119		国際健康コンシェルジュ養成講座(International health concierge training course)					全学共通科目 文化・国際 / 総合									
		*大分を創る科目														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	1	1・2・3・4	教・経・医・理工・福	前期	集中	氏名 大下(医) oshita@oita-u.ac.jp, 西田(医) ynishida@oita-u.ac.jp, 工藤(保健管理センター) kudou-yoshikuni@oita-u.ac.jp, 包(経), 濱中(大分県立看護科学大学) E-mail blianqun@oita-u.ac.jp(包), hamanaka@oita-nhs.ac.jp(濱中) 内線										
授業の概要	なんらかの病気・外傷等に罹患した訪日観光客に対し、速やかな応急処置と疾患の重症度の判断が可能となる医学的な知識を学ぶ。この医学的な対応知識を踏まえて、体調を崩した訪日観光客(車いす利用者も含む)に対し、病院、ホテルなどで使用する英語、中国語の基本的表現を学び、助けを必要とする外国人に英語や中国語で積極的に話しかけることができる人材の育成をめざす。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)										
目標1	病気・外傷の重篤度・緊急度の判断が可能となり、また必要な応急処置できる。					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標2	外国語(英語、中国語)の基本的な表現を使って、「身体症状を質問し、適切な指示を与える」ことができる。					○			○							
目標3	多様な年齢、性別、人生観、仕事観を持つ社会人と交流することで、視野を広げる。					○	○									
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	「科学と医学」に関する基本的な知識を得る。															
2	成人によくある病気に関する知識を得る。															
3	婦人科疾患と産科疾患の知識を得る。															
4	心肺蘇生法(胸骨圧迫、人工呼吸)やAEDを用いた除細動による一次救命処置の手順を習得する。															
5	体調を崩した訪日観光客に呼びかけ、応答する基本的英語表現を知り、発話練習を行う。															
6	日本人が国外で体調を崩した時に、ホテル、公共交通機関、病院などで使用する基本的英語表現を知り、発話練習を行う。															
7	中国語の発音規則と発声の仕方を学び、その発音練習を行う。															
8	体調を崩した訪日観光客に呼びかけ、応答する基本的中国語表現を学び、発話練習を行う。															
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
ラーニング	A:知識の定着・確認	○ 小テスト、知識の定着・確認を図るレポート、教え合い・学び合い、発表				工夫 その他										
	B:意見の表現・交換	○ 表、ロールプレイ														
	C:応用志向	○														
	D:知識の活用・創造	○														
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	事前の配布資料がある場合には、必要に応じて予習する(10h)。														
	事後学修	配布資料等を用いて、授業内容を復習する(30h)。														
教科書	教科書は指定しない。講義の中で適宜資料を配布する。															
参考書	参考書は指定しない。講義において、適宜紹介する。															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	各講義の課題	50%	○	○												
	各講義の発表	50%	○	○	○											
	各講義の課題および発表(実技)の評価の合計が、基準を満たしていることを単位取得の条件とする。															
注意事項	講義中に社会人、他大学の学生、他学部の学生とのグループワークを行うので、積極的な参加を期待する。															
備考																
リンク	URL															